新宿公民館便り

～つどい　まなび　つなぐ～

【玄関脇のアシビ】

令和５年度　第 16 号
令和６年２月 26 日(月)
発行　千葉市新宿公民館
住所　中央区新宿 2-16-14
電話　043-243-4343

車を運転して家に帰ろうとすると、近所の道で道路工事をしていた。一部分だけではあるが片側一車線になってしまうので、私はつい眉をひそめてしまった。少し進むと、立て看板には「ご迷惑をおかけしております。地震に強い水道管への取り換え工事です」とあった。

能登半島大地震の被災地ではいまだに不自由な生活が続いていると聞かされる。とりわけ人の生活には「水」が必要だと被災した人は口々に訴えていた。家の水道の栓をひねって水が出た瞬間に、涙を流して喜び、安堵しておられるお年寄りの方がニュースに映し出されていた。

大地震からもうすぐ 2 か月になろうとする。復旧、復興までにはどのくらいかかるのだろう。能登半島の、ゆがんだり陥没したりしている地面を掘り起こしながら、懸命に水道管をつないで延伸してくれている工事関係者の活動の先に、水道の蛇口を見つめる人々がいることを思うと頭が下がる。

工事関係者の皆様、ありがとうございます。

主催事業報告
「ひと味違うキムチを作ろう」 2月16日、17日

今回も韓国出身の佐藤さんにご指導いただきました。一日目は白菜を塩もみする作業です。白菜ひと玉を4等分して、葉を一枚ずつ開いて塩をまぶしていきます。重い石をのせて2時間で上下を逆にしたり、塩もみしてから6時間後に流水で2回洗い流した後に、ざるのふちにかけて水をしっかり切るなどの作業が家での宿題でした。

二日目

は、いよいよ漬け込み作業です。千切りにした大根･リンゴ、斜め輪切りにしたネギ、ニンニク･しょうが･玉ねぎはすりおろし、ゴマ、アミの塩辛、砂糖、鰯のエキス、弱火で煮込んだもち米粉をボールでよく混ぜ合わせます。こうして漬け込むベーチュソクが完成します。このベーチュソクを葉と葉の間に入れていきます。葉の根元には多めにして、葉全体に広げていき、いちばん外側の葉で全体を包み込んだら完成です。タッパーなどの保存容器に入れ、常温一晩、冷蔵庫で 3 日おいたら食べることができます。

出来立てのベーチュソクをつまみ食いすると、まァまァ辛いこと、でも甘いこと。これだけでアツアツのごはん一杯はいけそうでした。先生からは韓国のキムチ事情や日常生活などの話を聞くことができ、楽しいキムチづくり体験となりました。

アンケートの一部を紹介します。

･なかなか自分一人では挑戦しにくいキムチづくりを経験できてよかった。･家でこれだけたくさんの材料を一度に用意するのはなかなか大変なので参加できてよかったです。韓国の生活状況なども話していただき参考になりました。･細かい作業や家で一人で作る際のこともアドバイスいただきわかりやすかったです。周りの方々も優しい方ばかりで楽しかったです。･家で作る場合のレシピも詳しく教えていただけたため家でも作ってみようと思います。丁寧に教えていただきありがとうございました。･先生やスタッフの皆さんがとても親切だった。

最近よく耳にする話題･･･どうしていますか？
－「墓じまい」問題－

私も年齢を重ねてきて、これまで気にしていなかった活字に目を止めるようになってきました。新聞に入ってくる広告、「納骨堂」とか「樹木葬」、

「合祀墓」の案内がよく入っていませんか？最近、ついつい見てしまうんです。“自分はどうなるのだろう”、“田舎の墓はどうしよう”・・・などと、大学の授業でも親にも教えられていない悩みですよね。テレビでは“離檀料”（これまで聞いたこともない単語！）でのトラブルが起こっているニュースがありました。全国各地で、「墓じまい」はトレンドのようです。

もう何年も前から少子高齢化社会といわれ、地方から都市部への人の流入が続いています。地方ではお年寄りの割合がより高くなり、・残される子供たちや親族にできるだけ負担をかけたくない。・子供がいないのでお墓を継いでくれる人がいない。・菩提寺とのお付き合いが大変。金銭的な悩みを抱えるようになった。・遠方のお墓参りに行くことが、精神的、身体的に負担になってきた。・・・などさまざまなお悩みを持つ人が急増していることでしょう。それによって“供養文化の変化”が少しずつ起こっているような気がします。「親が大事にしてきたお墓なんだから・・・」、「ご先祖様は大事にしていかないと・・・」などの思いは尽きません。ジレンマに陥ってしまします。でも先々のことを考えると、現実はなかなか難しいものです。

いろいろと調べると、“お墓のお引越し”には役所での手続が必要で、提出しなければならない書類も多々あるようです。そして菩提寺の住職との手続き、“離檀料”については一番デリケートな問題となってくるのでしょう。ほかにもお墓の撤去工事代など費用の面も心配になります。

誰にどのように相談すればいいのか、どこから手を付ければいいのか、お悩みの方はいませんか？　新宿公民館では、この問題について9月頃に主催事業として講座を計画しています。近くなりましたらご案内しますので、関心のある方は一緒に学びましょう。私も悩んでいる一人です。

3月18日(月)、30日(土)は全館大掃除です

日頃より新宿公民館をきれいにお使いいただきありがとうございます。以前、公民館だより第13号でお知らせしました全館清掃・ワックスがけについてですが、3月30日(土)にも行うこととなりました。1階から3階まであることや部屋数が多いためと思われます。その日は清掃業者にお願いしてあり、利用者の方は「朝から一日立ち入り禁止」となります。講堂、講習室、廊下、階段はきれいに拭き上げた後にワックスがけ、会議室、事務室はフロアーマット清掃を行います。翌日からは正常の利用可能です。該当する利用団体にはお声かけいたしますので、改めてお願い申し上げます。

主催事業の予定

- **3月15日(金)「季節の和菓子づくり」～さくら衣**
  8名、参加費800円　受付 3/2～3/8
- **4月16日、23日「初心者のためのスマホ教室」**
  12名、無料、受付 3/19～3/25
- **4月18日(木)「コーヒーをおいしく淹れる」**
  12名、無料、受付 3/19～3/25

今日の公民館

【クリスマスローズ】
敷地内にひっそりと咲いています。どこに咲いているか知ってますか？

1月中頃、裏庭に埋めたチューリップの球根から芽が出始めています。ずっと前から埋まっていた球根（ツリガネスイセン？ユリ？）からも芽が出ています。暖かくなる頃、裏庭も鮮やかな花で賑わうでしょう。

声に出す日本語 ～いろはかるた

前回の続きからいきましょう。東西で違いがありました。聞いたことがないものもあるかもしれませんが、さあ、声に出して読んでみましょう。

	【江戸】	【京都】
「ち」	塵も積もれば山となる	地獄の沙汰も金次第
「り」	律儀者（りちぎもの）の子沢山	綸言汗のごとし
「ぬ」	盗人の昼寝	糠に釘
「る」	瑠璃（るり）も玻璃（はり）も照らせば光る	類をもって集まる
「を」	老いては子に従え	負うた子に教えられて浅瀬を渡る
「わ」	割れ鍋にとじ蓋	笑う門には福きたる
「か」	かったいの瘡（かさ）恨み	蛙のつらに水
「よ」	葭（よし）のずいから天井のぞく	夜目遠目（よめとおめ）傘のうち
「た」	旅は道連れ世は情け	立て板に水
「れ」	良薬は口に苦し	連木で腹を切る

冬萌えも　急ブレーキの　春氷雨
雨だれに　小さき馬酔木　み～つけた
～春はもうすぐ

（ 新宿公民館　館長　 迎　浩二 ）